

別紙1

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

・当事業所では、環境 ISO14001:2015 年版を取得し、環境保全活動に関する方針等については、環境マニュアルの中「環境方針」において、環境管理システムを運用し、適切なリスクマネジメントを行いながら以下の活動を推進し、持続可能な社会への貢献を目指すこと等を宣言している。

- ①社会を支える機能性材料や車載用 2 次電池の原料となる硫酸ニッケルやプリカーサー等の製品を安定供給することによって、省エネルギー社会へ貢献する。
- ②資源の有効利用のため中間品から酸化スカンジウム等の有価金属回収を推進し、産業廃棄物の発生量削減を図る。
- ③温室効果ガス (GHG) 排出量の削減を図るため、燃料・電力等の適正管理を行うとともに、大気・排水中への環境汚染の予防、環境負荷の低減を図る。
- ④環境関連法規制、協定及びその他の要求事項等を遵守し、地域社会との積極的コミュニケーションを通じ、地域との相互理解を深める。
- ⑤環境目標を設定し、達成のための活動を推進し、その達成度を定期的にレビューし、環境管理システムを継続的に改善する。

・また当社では、統合報告書を毎年発行し、環境負荷、パフォーマンス等を公表している。

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

1-2 環境保全活動に関する組織体制

- * 公害防止管理組織、並びに ISO14001:2015 年版に基づく事業所REQO委員会をもって、環境保全活動に関する組織体制としている。
- * 連絡体制については、緊急事態対応の規程に基づいて内部・外部、緊急／異常事態発生時報告ルートを明示して周知・教育している。

別紙2

2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組み結果	今後の取組み計画
廃棄物削減	・亜鉛製錬設備解体、硫酸ニッケルプラント、プリカーサープラント、スカンジウムプラント等で新規に発生する廃棄物の管理チェック強化等のコンプライアンス違反防止対策を継続している。	・亜鉛製錬設備解体、硫酸ニッケルプラント、プリカーサープラント、スカンジウムプラント等で新規に発生する廃棄物の管理チェック強化等のコンプライアンス違反防止対策を継続。 ・高濃度 PCB 含有機器(照明安定器)の収集運搬、最終処分完了予定。
環境マネジメントシステム	・令和4年12月にISO14001:2015年版外部維持審査を受け、合格。 ・トップによるマネジメントレビューを実施、継続して環境リスク管理強化や改善を実行中。	・令和5年度の環境改善実行計画の推進。 ・取組みの重点化と硫酸ニッケル事業、プリカーサー事業、スカンジウム事業での効果的な取組み。
環境教育	・令和4年6月1日、トップによる全所員への環境教育、CSR教育等を実施した。他、各部署で必要な教育を展開した。 ・職場毎に分担し、海岸掃除を毎月継続している。	・全社員への環境教育、CSR教育を行い意識とレベルの更なる向上を図る。 ・海岸掃除の継続(1回/月)。
環境コミュニケーション	・令和4年度版統合報告書発行。 ・兵庫県環境保全管理者協会活動等への参加による環境情報の収集と意見交換。	・環境情報公開の継続。 (統合報告書1回/年の発行等)
化学物質管理	・亜鉛製錬設備の計画的撤去により有害物質の地下浸透リスクを低減。タンク、配管等からの有害物質漏えい点検管理強化中。 ・硫酸ニッケル、プリカーサープラントでの危険物事故防止対策の実行、管理手順教育・訓練等実施。 ・PRTR法に伴う報告を経済産業省と兵庫県に行った。	・他、有害物質漏えい防止の強化。 ・硫酸ニッケル事業で使用する油類の管理強化。 ・PRTR報告に係る傾向管理と削減取組みの強化。
特定物質排出抑制	・夏季、冬季ピーク電力値を削減。 ・当年度より再生可能エネルギー由来の電力を購入し、利用開始。 ・ボイラー工程の改善等により、都市ガス151km ³ 相当の省エネ実施済。	・再生可能エネルギー由来の電力購入利用を継続。 ・夏季/冬季でのピーク電力削減の継続。 ・現場操業改善、照明のLED化等、省エネ活動の推進によるCO ₂ 排出量低減の取組み継続。
設備保全	・新設備についても安全・環境・品質リスクに配慮した設備の本質安全化設計とし、確実な設備点検・保安全管理を実施。	・継続した環境関連設備の補修、更新、維持改善活動の実施。